

# 平成20年度

# 五泉市人事行政の運営等の状況の公表

## < 項 目 >

1. 職員の任免及び職員数に関する状況
2. 職員の給与・定員管理等について
3. 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況
4. 職員の分限及び懲戒処分の状況
5. 職員のサービスの状況
6. 職員の研修及び勤務成績の評定の状況
7. 職員の福祉及び利益の保護の状況
8. 五泉市公平委員会の業務の状況

# 1. 職員の任免及び職員数の状況

## (1) 職種別採用者数

平成19年4月1日採用	13人
職種別内訳	
一般事務職員	7人
教諭	1人
保育士	4人
消防士	1人

平成20年4月1日採用	15人
職種別内訳	
一般事務職員	1人
保健師	1人
栄養士	2人
教諭	1人
保育士	8人
消防士	2人

## (2) 事由別退職者数

平成19年度退職者	37人
職種別内訳	
定年	25人
勸奨	8人
その他	4人

## (3) 4月1日現在の職員数

平成19年4月1日現在	634人（男384人・女250人）
平成20年4月1日現在	612人（男374人・女238人）

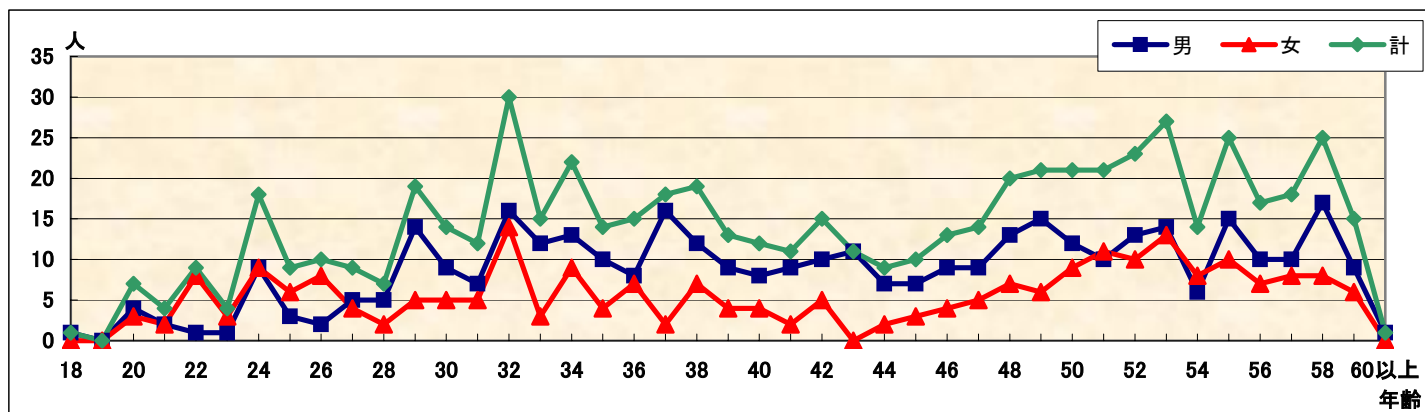
※ 上記の職員数には市長、副市長は含みません。（教育長含む）

## (4) 部門別職員数の状況

（各年4月1日現在）

部門	区分	職員数		対前年増減数	主な増減理由
		平成19年	平成20年		
一般行政部門	議会	5	5	0	
	総務企画	86	81	△5	業務の見直しによる減
	税務	31	30	△1	業務の見直しによる減
	労働	1	1	0	
	農林水産	30	30	0	
	商工	12	12	0	
	土木	33	32	△1	業務の見直しによる減
	民生	156	148	△8	運転業務の民間委託、保育園業務の見直しによる減
	衛生	29	27	△2	業務の見直しによる減
	小計	383	366	△17	
特別行政	教育	108	103	△5	組織機構改革（本庁と支所の課の統合等）による減
	消防	84	84	0	
	小計	192	187	△5	
公営企業等	水道	22	22	0	
	下水道	10	9	△1	業務の見直しによる減
	その他	27	28	1	後期高齢者医療業務の増加による増
	小計	59	59	0	
合計		634	612	△22	

(5) 年齢別職員構成の状況（平成20年4月1日）



2. 職員の給与・定員管理等について

この項目については、他の地方公共団体との団体間の比較が容易になるよう、別に抜き出してまとめましたので、そちらもご覧ください。

3. 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

(1) 勤務時間の状況（平成20年4月1日）

区 分	勤 務 時 間		休 日
	始業時間	終業時間	
一般行政職	午前8時30分	午後5時15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日曜日及び土曜日</li> <li>・国民の祝日</li> <li>・年末年始（12月29日～12月31日、1月2日及び1月3日）</li> </ul>
	1週間当たり40時間勤務		

(2) 休暇の取得状況（平成19年1月1日から12月31日までの取得状況）

区 分	1人当たりの平均取得日数
年次休暇	8.27日
特別休暇	2.99日
療養休暇	1.02日

(3) 育児休業及び部分休業の取得状況（平成19年度）

育 児 休 業	平成19年度以前からの継続取得	4人
	平成19年度新規取得	8人
部 分 休 業		0人

4. 職員の分限処分及び懲戒処分の状況（19年度）

(1) 分限処分の件数及び処分事由

処分名	事 由	人 数
休職	心身の故障の場合	1人

(2) 懲戒処分の件数及び処分事由

処分名	事 由	人 数
戒告	職務上の義務に違反し又は職務を怠った場合	2人
減給	全体の奉仕者たるにふさわしくない非行のあった場合	1人

## 5. 職員のサービスの状況（19年度）

営利企業等の従事許可の事由別人数

事 由	人 数
青少年指導員	3人
町内会長	1人
土地改良区総代	1人

## 6. 職員の研修及び勤務成績の評定状況

### (1) 職員研修の実施状況（平成19年度）

ア 新潟県総合事務組合主催研修

階層別研修

研 修 名	人数
新採用職員研修	12人
一般職員研修第1部	6人
一般職員研修第2部	6人
主任・主査研修	8人
係長研修	14人
課長補佐級研修	9人
課長級研修	5人

専門研修

研 修 名	人数
税務事務新任研修	3人
固定資産税事務新任研修	3人
市町村民税研修	4人
徴収事務研修	3人
組織マネジメント能力向上研修	2人
接遇研修	1人
行政法研修	1人
法制執務研修	1人
政策形成研修	1人
講師養成研修(公務員倫理)	1人
法律基礎研修	1人
説明力強化研修	1人
折衝力開発セミナー	1人
企画力開発研修	1人
リーダーシップ能力向上研修	1人
意思決定能力強化研修	1人

イ 市独自研修

研 修 名	人数
人事考課制度研修	のべ 938人
行政評価研修	のべ 470人
情報セキュリティ研修	204人
男女共同参画職員研修	176人
セクシュアルハラスメント防止研修	88人
地球温暖化対策率先実行計画職員研修	315人
行政対象暴力に関する研修	138人
クレーム対応力研修	40人
パソコン基本操作研修	37人
メンタルヘルス研修	48人
給食調理員研修	5人

### (2) 人事考課制度の状況

人事考課制度とは、職員一人ひとりの意欲や能力、実績を公平かつ客観的に評価し、人事管理に反映させる仕組みです。

五泉市では、職員の人材育成を目的とした仕組づくりを平成18年度に行い、平成19年度から職員研修を実施しながら試行を行い、制度の構築を図っています。

## 7. 職員の福利及び利益の保護の状況（平成19年度）

### (1) 健康診断の実施状況

定期健康診断 受診者数 717人（臨時職員含む） 3,696千円  
 （うち人間ドック 340人）

### (2) 公務災害及び通勤災害の発生件数

公務災害 6人  
 通勤災害 1人

### (3) 五泉市職員共助会について

五泉市では、「地方公務員法第42条」の厚生福利制度に基づき、職員の福利厚生事業を行うために五泉市職員共助会が組織されています。

五泉市職員共助会では、職員の相互共済及び福利増進を図ることを目的として、五泉市職員（臨時雇用者を含まない）で構成されています。

ア 会員数 638人

イ 会費 給料月額 $\times$ 2/1,000を毎月徴収

ウ 公費負担率 9.95%

983千円（補助金）／9,879千円（収入総額）

エ 1人当たり公費負担金 1,541円

983千円（補助金）／638人（会員数）

#### オ 補助金対象事業の実施内容及び決算額

事業名	実施内容	決算額
保健体育事業	市役所職員スポーツ大会補助費	大会中止 0円
親睦事業	きなせや民謡流し参加	37人参加 15,450円
	太田川クリーン活動参加	33人参加 0円
厚生事業費	団体定期保険 会員1人当たり 1,450円	638人 925,100円
	福利厚生助成 人間・脳ドック受診者に対し3,000円	342人 1,026,000円

#### カ 事業等の見直し

五泉市からの補助金を、「対象事業費の1/2又は会員1人当たり3,000円の少ない金額」から「対象事業費の1/2又は会員1人当たり1,500円の少ない金額」へ見直し。（平成19年度より）

平成21年度からは補助金廃止への見直し。

全国市長会団体定期保険の加入を未加入へ見直し。（平成20年度より）

## 8. 五泉市公平委員会の業務の状況（平成19年度）

### (1) 勤務条件に関する措置の要求の状況

0件

### (2) 不利益処分に関する不服申し立ての状況

判定件数 1件（前年度からの継続事件）